

インプラント治療のお話 part3

その1

インプラント治療の前に 【健康な歯が一番大事】

お願いいたします。自己紹介は、以下にお示ししてあります病院紹介を参考にさせていただければ、私の経歴等ご理解いただけると思います。今回から「インプラント治療のお話 part1」を始めさせていただきますが今までは分かります重点をおいて簡単な言葉で説明をさせていただいていますが、今回はこのコンセプトはそのままに、専門的な解説も加えていくこととしました。分かりにくい部分も出てくるかもしれませんが、お問い合わせいただければ、お問い合わせいただけるだけの対応をさせていただきます。

シリーズの最初ですのでインプラント治療のお話をさせていただきます。前に、健康な歯のお話をさせていただきます。私は「最高の歯科治療は、治療のいらない健康な天然歯を守ること」だと考えています。

人生において、健康な歯とかみ合わせを保つ、食べる、話す、口元の美しさや笑顔を手に入れるこ

とができれば素晴らしいことです。虫歯、歯周病にならないようにする方法もある程度確立されています。だからこそ最高の歯科治療は、健康な天然歯を守ることです。しかし、残念なことには防ぐことが出来る病気にも関わらず多くの方がどこかの時点で健康を損ない、歯とかみ合わせが壊れてしまつたのが現状です。その場合、我々歯科医は患者さんの笑顔のために、最良と考えられる治療方法とかみ合わせの回復とその後、長期においてメンテナンスをやるようにメインテナンスをしていきます。

予防処置を行うと虫歯や歯周病が予防できるとする根拠について解説をします。スウェーデンのアクセルソン

博士の論文からですが、30年間30代から50代の患者さん257名にそれぞれに応じたプロフェッショナルケアとセルフケア（これらについては別な機会に解説させていただきます）を指導し、実施してもらったところ、30年後に失われた歯の本数は平均0.6本であったという結果が出ています。しかも失った歯の喪失原因は、ほとんどが虫歯でも歯周病でもなく、歯の破折だったのです。この結果からいえることは予防処置さえきちんとしていれば虫歯、歯周病は本来まれな病気なのです。

次回もインプラント治療の前に」と題して続きを解説させていただきます。



伊藤創造(いとうそうぞう)

岩手医科大学歯学部卒業、大学院でインプラントに関する論文で博士号を取得。その後、岩手医科大学歯科補綴学第二講座の講師として臨床等で活躍。1991年にトレント大学に留学。2014年におゆみ野インプラントセンターを開設。岩手医科大学臨床教授、日本補綴歯科学会・指導医、日本顎顔面補綴学会・認定医、日本歯科審美学会・認定医。国際口腔インプラント協会(IDIA)・Mastership。
おゆみ野総合歯科クリニック
☎043-300-3939